

一 問一 ウ (3点) 問二 イ (3点) 問三 エ (3点) 問四 ウ (3点) 問五 エ (3点)

問六 (1) A信じるな (3点) B使う (3点)

問六 (2) 若者には、メディアをさけるのではなく、メディアを使いこなし、本質を考えられるようになってほしいから。(6点)

問七 ア (3点) 問八 はつきりしてくれよといらだつ思い (3点) 問九 エ (3点)

問十 ア (4点)

問十一 ① エスカレーターの片側をあけて乗る習慣 (4点)

問十一 ② A それぞれの文化の習慣に従うのがよい (片側をあけると移動がスムーズでよい) (4点)

② B わがままを助長する習慣はよくない。(片側に寄って歩くのは危険でよくない) (4点)

問十二 (例1) エスカレーターの正しい乗り方を周知するために、いろいろな国の言葉で放送を徹底したり駅員が近くに立って声かけをしたりする。

(例2) 片側に寄りすぎると光やブザーで知らせるような装置を作る

(例3) エスカレーターの設計を、一人乗り用や歩いても安全なように、変更する。その他。

二 問一 ウ (1点) 御覧になって (2点)

エ (1点) おかきになって (2点)

オ (1点) 母 (2点)

キ (1点) 召し上がって (2点) 順不同

問二 ① ア (2点) ② エ (2点) 問三 ウ・カ (各2点順不同)

問四 ① 給食を食べたり、ボールで遊んだりすることだ。(2点)

② あいさつをすることだ。(2点)

問五 ① (例) うれしさや楽しさ、おかしさの表現として、顔をやわらげたり声をたてたりすること

(4点)

② (例) 北を向いたときの、西にあたる方向。(4点)

三 ① 機会 ② 参照 ③ 小判 ④ 視野 ⑤ 装備 ⑥ 家賃 ⑦ 有頂天 ⑧ 手編(み)

⑨ そこぢから ⑩ さかいめ ⑪ こころえ ⑫ ていさい